

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、あけましておめでとうございます。今年も初弘法がやってきました。かわら版、今年もどうぞよろしくお願いします。

昨年から般若心経の意味を学んでいるかわら版。生き方や社会のあり方を考える際の道標(みちしるべ)です。

今月は「三世諸仏(さんぜしよしよぶつ) 依般若波羅蜜多故(えいはんがはらみたらご) 得阿耨多羅三藐三菩提(とくあーのくたーらいさんみやくさんぼーだい)」の二十二文字。

「三世」は過去、現在、未来。つまり「三世諸仏」は過去、現在、未来の様々な仏様。ここは文字どおりです。

さて「般若波羅蜜多」は四回目の登場。その前後に「依」「故」をつけた「依般若波羅蜜多故」は前々号でも登場しました。復習しましょう。

「般若」は広く深い知恵のこと。「波羅蜜多」はこ

ちらの岸(此岸、しがん)からあちらの岸(彼岸、ひがん)に渡ること。つまり「般若波羅蜜多」は広く深い知恵で彼岸に渡って悟りの境地に達すること。

残るは「依」と「故」。これも文字どおりの意味でした。つまり「三世諸仏」は広く深い知恵で彼岸に渡って悟りの境地に達することに「依」るが「故」に「阿耨多羅三藐三菩提」を「得」るこ

とになります。では「阿耨多羅三藐三菩提」とは何でしょう。これはサンスクリット語の「アヌツタラー・サムヤクサンボーデー」を音訳したものだそうです。その意味は「無上・最高の悟り」。それ以上はない究極の悟り。「真理」と言ってもよいでしょう。

ここまですれば、今月の二十二文字も何となく理解できます。過去、現在、未来の諸

仏は、広く深い知恵で彼岸に渡って悟りの境地に

達するので、この上ない真理を得ることができ

「そうか、仏様の話なら関係ないや」と思わないでください。人は誰でも心の中に仏性(ぶつしょう)が宿っています。その仏性を開くことができ

るかどうか、気づくことができるかどうかが大切なことです。今月の二十二文字、三世諸仏に限ったことではなく、私たち全員に関係しています。

多くの人に親しまれるご心経。ここまですれば、五文字について学びました。あと七十三文字です。今年も頑張りましょう。

それでは皆さん、来月までごきげんよう。合掌。

※



## かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。地元の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ15年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

好評発売中



大法輪閣 (仏教書の老舗出版社) 営業部: 電話 03-5466-1401

